

(特非) 北海道グリーンファンド

一般助成

1年目

知識の提供・普及啓発

道産子ライフ低炭素化促進活動 ～エネルギーをしっかりと選ぶ、 大事に使う、これからもずっと～

プレ研究会・省エネルギー行動
研究北海道交流会開催回数 **2回**

運営協力数:自治体・研究者・
事業者・市民団等 **14団体**

活動の全体目標に
対する達成度 **40%**



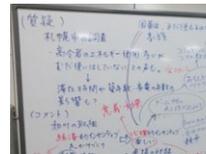
交流会の様子-行動変容に関する知見共有-

課題

温室効果ガス排出削減へむけ、重要であるが成果の見えにくい市民を対象とした普及啓発(ソフト面=行動変容)に関する効果的なアプローチの確立とそれによる実践意思の増加。

活動内容

低炭素ライフスタイルへの行動変容にむけた効果的な取組みが広がるための連携を目指し、生活者の省エネルギー行動変容にむけた情報交換、知見共有の場として「省エネルギー行動研究北海道交流会」を開催。各回テーマ「どう押す?省エネ行動スイッチ、どうはかる?省エネ効果」「冷蔵庫を切り口にCOOL CHOICEを進めるための仕組みやしかけを考える」。自治体、研究者、事業者、実践者等多様な主体の参加があった。



参加した皆さんからの意見

今後の課題

次年度にむけ、各主体と連携しながら進めていく。

成果と工夫した ポイント



成果

成果指標の設定には至らなかったが、活動は注目され、新聞に3回掲載され、記事・番組作成協力を1紙2社に行った。交流会は自治体の関心を集め、参加が、1回目は3市1町から、2回目は6市1町に増加した。

工夫

省エネ行動変容に関して知見の深い研究者発表と、地域で実施されている取組み事例発表を合わせた内容にした。